

アルケア、骨折治癒を促進する超音波骨折治療器 導入 伊藤超短波株式会社「オステオトロンV」販売提携

医療・福祉・健康分野の材料、機器を開発・製造・販売するアルケア株式会社(本社:東京都墨田区、代表取締役社長:鈴木輝重、以下、アルケア)は、伊藤超短波株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:倉橋 司、以下、伊藤超短波)と提携し、LIPUS(低出力パルス超音波^{※1})により骨癒合を促進する超音波骨折治療器「オステオトロンV」を、2018年2月1日に医科施設向けの販売を開始します。

※1. Low Intensity Pulsed Ultrasound の略語

■ 快適なギプス生活創造を目指して

1953年に国内で初めて石膏ギプスの開発をおこなったアルケアは、創業以来「骨折固定環境のクオリティ向上」を目指した商品開発を進めてまいりました。

このたび「快適な骨折治療生活を創造し、患者満足度に貢献する」ことを目的とし、骨折治癒促進として実績のある超音波骨折治療器【オステオトロンV】を導入しました。

■ 骨折治療生活に求められるもの

骨折部位を治療するために、ギプスや副木で固定することは周知の事ですが、ギプスや副木による固定期間は決して快適といえるものではありません。骨折患者にとっては、できる限り快適に、早く治療生活を終えたいというのが大きな願いです。また近年医科領域においても、患者の満足度の高い医療の実現の為に、患者の早期社会復帰のサポートを目的として、超音波骨折治療器を導入する施設が増加しております。

■ アルケアが販売する意義

超音波骨折治療器は、患者満足度の向上を目的として、整形外科診療所を中心に需要が高まっています。そこで全国に整形外科専門営業を持つアルケアが販売を担うことで、これまで以上に整形外科診療所の先生方に情報をお届けできると考えております。またアルケアが長年開発してきたギプス・副木と組み合わせた提案をすることで、更に満足度の高い骨折治療のご提案を目指します。

■ LIPUS(低出力パルス超音波)による骨折治療

LIPUSとは断続的な低出力の超音波(パルス)を指し、この超音波の音圧による物理的刺激を骨折部位に1日約20分間照射することで、骨癒合(骨の形成)が促進されるものです。

この低出力の超音波により骨折部位の骨形成を促進し、骨癒合期間を約40%短縮できるという報告があります^{※2}。



オステオトロンV (本体)



〔使用例〕 前腕骨折治



〔使用例〕 鎖骨骨折治

■ オステオトロン V の特長

➤ カラータッチパネルで使いやすい

カラータッチパネル式を採用、直感操作が可能です。液晶画面を軽くタッチして、治療内容の設定ができ、分かりやすい画面表示で、スムーズな操作が可能です。

➤ 浅深 2 チャンネル独立利用が可能

2チャンネル独立出力が可能で、標準装備の 1.5MHz のプローブに加え、オプションの 750kHz のプローブを使用することで、浅部から深部まで、様々な患部の治療に対応できます。複数部位の同時治療や患部を挟み込んでも治療も可能なため、多重骨折や難治性骨折などにも、効率的な治療が行えます。

➤ 充電の手間を軽減

リチウムイオン充電電池による電池内蔵式で、充電は充電器を使用しない AC アダプタを採用。アダプタを本体に接続するだけで充電が可能です。1 回の充電で約 13 回* の使用ができます。

* 20 分間・2 チャンネル・超音波プローブ(M・1.5MHz・平型)・60mW/cm² で使用した場合。約 500 回の繰り返し充電が可能。

➤ 骨の形成を促進し、治療期間を約 40% 短縮！ ※2

LIPUS (低出力パルス超音波) による音圧効果により、骨折部位の骨の形成を促進し、骨癒合期間を約 40% 短縮できるという報告があります。

※2 参考

- 1) Heckman JD, Ryaby JP, McCabe J, Frey JJ, Kilcoyne RF. Acceleration of Tibial Fracture-Healing by Non-Invasive, Low-intensity Pulsed Ultrasound. J Bone Joint Surg Am 76(1):26-34, 1994.
- 2) Kristiansen TK, Ryaby JP, McCabe J, Frey JJ, Roe LR: Accelerated Healing of Distal Radial Fracture with the Use of Specific, Low-intensity Ultrasound. J Bone Joint Surg AM 79(7):961-973, 1997.



オステオトロン V

■ 超音波骨折治療器「オステオトロン V」の概要

製品名：超音波骨折治療器「オステオトロン V」

仕様(種類・サイズ)：本体・大きさ：H145 × W75 × D32mm、重さ：250g/充電電池含む

標準付属品：超音波プローブ(2 種、1.5MHz/平型/M サイズ・S サイズ)、固定具(ハネ付)、固定具(D2) イトー超音波ゲル(250g)、リチウムイオン充電電池

定格電源：DC7.4V(リチウムイオン充電電池)、DC12V(AC アダプタ：AC100V、50/60Hz)

超音波出力：30mW/cm²、45mW/cm²、60mW/cm²(SATA：空間平均 時間平均)

発振周波数：750kHz、1.5MHz

パルス周波数：100Hz、1000 Hz(切替)

タイマー：10 分、20 分、30 分(切替)

医療機器分類：特定保守管理医療機器(クラス II)

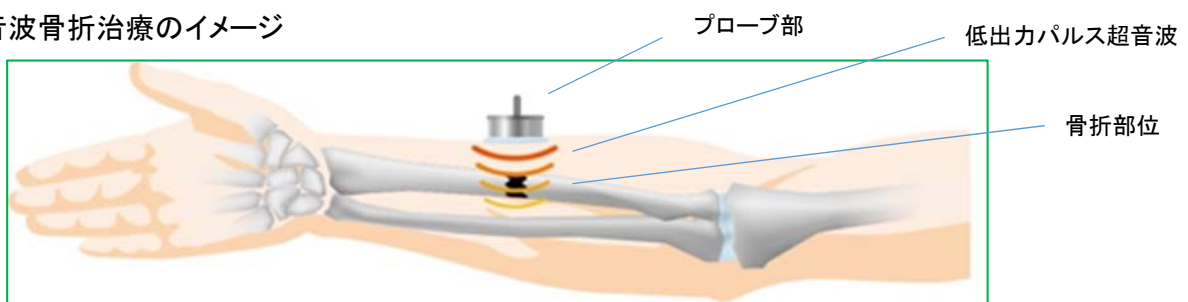
医療機器認証番号：225AABZX00101000

使用目的：骨折治癒促進

販売開始日：2018 年 2 月 1 日

価格：¥400,000(税抜)

■ 超音波骨折治療のイメージ



・・会社概要・・

■ 伊藤超短波について

伊藤超短波は、1916年に創業し、物療法機器のパイオニアとして100年あまりの歴史を歩んできました。創業者である伊藤賢治が物理療法を独自に研究し、日本初の超短波治療器を開発して以来、当社は数多くの物理療法を開発してきました。その過程で機器の性能や安全性にこだわってきたのはもちろん、どこよりも早くEBM(Evidence-based medicine：根拠に基づく医療)の確立を目指してきました。今や医療機器メーカーにとってもEBMの裏付けは必要不可欠です。その高い信頼性と技術力が融合され、伊藤超短波の治療器は医療やスポーツ分野における専門治療にも幅広く用いられています。

社 名：伊藤超短波株式会社

設 立：1916年(大正5年)

代 表 者：代表取締役 倉橋 司

売 上 高：69億100万円(2016年12月現在)

従業員数：340名(2016年12月現在)

U R L：<http://www.itolator.co.jp/>

本社所在地：東京都文京区白山1-23-15 〒113-0001

事業内容：病院用および家庭用治療器、リハビリテーション機器、健康機器、美容機器などの製造・販売

お客様お問合せ先：03-3812-1216

■ アルケアについて

アルケアは、高齢社会におけるエッセンシャルパートナーとなることを目指し、ウインドケア、オストミー&コンチネンスクエア、ロコモティブケア、ナーシングケア、ヘルスクエアの5つの視点でケア現場に貢献する事業を展開しています。ロコモティブとは運動器(身体運動に関わる骨、筋肉、関節、神経など)の総称です。この運動器疾患の予防～診断～治療～リハビリで必要とされる製品・サービスを提供しております。

国産の開発型メーカーとして、国内の整形外科医師と共に医療ニーズにお応えする様々な製品を開発し、全国各地の医療機関に提供してまいりました。学術集会においては、併設展示や独自テーマのセミナーを開催し、医療従事者の皆様と積極的なコミュニケーション活動を展開しています。

社 名：アルケア株式会社

創 業：1955年7月

代 表 者：代表取締役社長 鈴木輝重

売 上 高：142億円(2017年7月現在)

従業員数：530名(2017年7月現在)

U R L：<http://www.alcare.co.jp>

本社所在地：東京都墨田区錦糸 1-2-1 アルカセントラル 19階(〒130-0013)

事業内容：医療機器・医療用消耗材料の研究開発、製造、販売業

事業所：本社(東京都)、医工学研究所(東京都)、工場(千葉県)、物流センター(東京都)

営業所(北海道、宮城県、東京都、愛知県、大阪府、広島県、福岡県)

関連会社：株式会社ザイタック(東京都)

お客様お問合せ先：0120-770-863(コールセンター)